

フルバリネットくん煙剤 マブリックジェット	取扱メーカー： 日本曹達 原体メーカー： 日農
成分： フルバリネット〔ピレスロイド系〕……………15.0%	性状： 灰色発煙性中空円板状 外径65mm, 内径20mm, 高さ15mm, 1個50g 毒性： 劇物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 施設野菜のアブラムシ類，ハダニ類などの主要害虫に優れた防除効果を示す。
- くん煙剤なので，ハウス内の湿度を上げず，また果実を汚さずに，省力で安全な防除ができる。
- 収穫間近まで使用することができる。
- 有機リン剤やカーバメート剤などに，効きにくくなった害虫にも有効。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- ハウスの密閉……くん煙を始める前に防除する室の戸や窓を閉め密閉する。
- 薬剤の配置……室の容積によって使用量を決める。煙を吸い込むと激しくせき込むので，煙にまかれないうちに，いずれの型のハウスでも必ず中央にタテ一列に間隔をおいて配置し，奥から順次点火する。（正方形に近いハウスでは，奥に2個，中央に1個，手前に2個の3カ所，長方形のハウスでは，1個ずつ5カ所，中央一列に配置する。）
- くん煙する場合は，添付の吊具又は所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙する。吊具及び電気式点火・くん煙装置は栽培作物の高さで吊り下げるか又は不燃性の台などの上のせて使用する。なお，植物体，可燃物から離れた中央の安全な場所に設置する。特にビニール等の被覆材とは60cm以上離れた位置で使用する。
- 点火は以下のとおりに行う。
 - 点火紙を用いる場合，同封の点火紙を吊具の所定の位置に正しく設置しその上に薬剤をのせてから点火紙に点火する。点火紙を薬剤の上のせて点火すると炎が出るのでさける。

発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消す。
点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのまま放置する。

- 電気式点火・くん煙装置を使用する場合装置は水などに濡れないように設置し，電源がオフになっていることを確認の上，薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電する。点火後発煙したら電源のオフを確認し，くん煙室の外に出てそのまま放置する。発煙直後に万一炎が出た場合においても，再びくん煙室に入らずに，そのまま放置する。
- 点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らない。

- くん煙……くん煙は，夕方から始め，翌朝までとする（できるだけ12時間以上密閉）。
- ハウスの開放……翌朝，開放し，十分換気した後に入室する。（特に，ハウス内が乾燥している時は，煙が翌朝まで残る場合があるので十分注意する。）

【薬効・薬害等の注意】……………

- 室外で強い風が吹いている時は，煙が片寄ってしまい，均一な効果がでにくいので，使用しない。
- ミツバチを放飼する場合は，処理後必ず3日以上あけてから，巣箱をハウスに入れる。
- 適用作物（なす）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- のど・鼻・皮膚を刺激するので，絶対に煙を吸いこまないように十分注意する。
- 呼吸器官の弱い人・故障のある人は作業に従事しない。
- 点火の際は，防護マスク，手袋，長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。

●くん煙中は、翌朝ハウスを開放するまでは、絶対にハウス内に入らない。



【適用と使用法】

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量		使用時期 (収穫前)	本剤及びフルバリネット を含む農薬の総使用回数	使用 方法
み か ん	温室・ビニールハウス等の密閉できる場所	ミカンハダニ	くん煙室 容積400m ³ (床面積200m ² ×高さ2m) 当り	100 g	21日前まで	2回以内	くん煙
メ ロ ン		アブラムシ類			3日前まで		
な す		ハダニ類 アブラムシ類		50 g	前日まで		
す い か							
き ゆ う り							
い ち ご		アブラムシ類		20 g			
カーネーションばら							
花 き 類・観葉植物 (カーネーション、ばらを除く)	アブラムシ類	50 g	発生初期				